



## にしだ小児クリニック併設

病児保育室 クオレ

# 手足口病

お知らせ



最近の傾向	手足口病は、毎年、夏に流行のピークを迎えますが、最近、見受けられるのは、1か月のうちに、2回も感染されるお子様です。
症 状	感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。発熱してもあまり高くなり、高熱が続くことはほとんどありません。大抵は、数日間のうちに治りますが、お子様の病状経過を注意深く観察し、合併症に注意をする必要があります。 回復したのち、一時的に手足の爪が割れる、脱落するなどの症状が散見されますが、自然に治ることがほとんどです。
特 徴	治った後も、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあります。また、感染しても発病はせず、ウイルスを排泄していることもありますので、保育施設等での感染を防ぐことは難しいですが、発病しても軽い症状で治ってしまうことがほとんどで、子どもの間にかかって、免疫をつけてきた感染症です。
予 防	手洗いの励行が重要です。接触感染対策としては、子どもたちが日常的に触れるおもちゃ等を、こまめに消毒することです。タオルや食器をわけるなど、感染対策をしましょう。 治った後も、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあるので日頃からの、しっかりとした手洗いが大切です。
そ の 他	まれに髄膜炎や脳炎など中枢神経系の合併症などが起こる場合があるので、経過観察をしっかりと行い、高熱が出る、発熱が2日以上続く、嘔吐する、頭を痛がる、視線が合わない、呼びかけに答えない、呼吸が速くて息苦しそう、水分が取れずにおしっこがでない、ぐったりとしているなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。